

# ふるさと わがまち わが地域

## 峰山町2区



### 峰山三寺を抱える坂のまち

峰山町2区は市役所庁舎から北西方向へ約600m離れたところに位置します。府道17号網野峰山線という幹線道路を挟んで東西に開けまが集中しています。地区内には旧峰山町の寺院が集中しています。全性寺(ぜんしようじ)、妙経寺(みょうきょうじ)、常立寺(じょうりゅうじ)の寺院は手前から順番に並んでいるために、奥の二つの寺院は中寺・奥寺と親しみを込めて呼ばれています。

峰山町2区は市役所庁舎から北西方向へ約600m離れたところに位置します。府道17号網野峰山線という幹線道路を挟んで東西に開けまが集中しています。地区内には旧峰山町の寺院が集中しています。全性寺(ぜんしようじ)、妙経寺(みょうきょうじ)、常立寺(じょうりゅうじ)の寺院は手前から順番に並んでいるために、奥の二つの寺院は中寺・奥寺と親しみを込めて呼ばれています。

### 未来へ残そう

## 屋台 春日山



旧峰山町内には5基の屋台があり、2区には「春日山」という山屋台があります。金刀比羅神社秋の祭礼に各町から出され、奉納巡行では一列になり見ごたえのあるものとなります。曳き手や囃子方など役もたくさんあるので2区内では賄いきれず他地区からの応援も得ながらお祭りを楽しんでいます。

### 「春日山」

江戸時代に造られたと思われる、古くからある屋台の一つである。昭和二年の震災では、春日山と八幡山の二台のみが焼失を免れた。



二区の坂道を力を合わせて登る春日山

震災後、昭和六年には屋台を組み立てたが巡行しなかった。翌七年に山屋台三基、芸屋台一基が出て、震災以来ようやく賑わいが戻ってきた。昭和八年は社殿の復旧が完了し、賑やかな祭礼が行われた。その後は昭和十一年まで神輿を供奉した記録がある。

戦後は、昭和二十六年に若衆連中が主体となって屋台を繰り出した記録が残る。昭和三十六年の金刀比羅神社百五十年祭では、奉祝行事委員会などから屋台の出動に補助も出て、賑やかに巡行が行われた。(金刀比羅神社御鎮座二百年記念誌より)



豪快に回転させて方向を変えます

### 安泰山 常立寺 (浄土宗)



「峯山旧記」によると、常立寺はもと真言宗で「玉葉山光明寺」とい、後奈良院の天文二十四年(1555)に徳及阿闍梨によって創建されました。初代京極高通が入国して、その都知恩院の末寺です。

居館を造営するため移転させられました。そのうえ、京極家の菩提所は浄土宗であることから、真言宗から浄土宗に転宗を命じた。現在は京都知恩院の末寺です。

### 法喜山 妙経寺 (日蓮宗)



明治二年「峯山旧記」によると、慶長のころ(1596~1614)僧日頭がこの地方に日蓮宗を広めに来たとき、杉谷の田中陳左衛門(弥左衛門の誤記か)がこれに帰依し、妙法の精舎(日蓮宗の寺院)を建てたが、三代

京極高明のとき、初代高通の室・法喜院の御法楽(供養)を勧めたため、その法名を山号にいただいて「法喜山妙経寺」と称し、寺地の年貢を免除された」と記されています。

### 臥龍山 全性寺 (臨済宗)



明治十六年「峰山町誌稿」に何時代に創建されたか明らかでないですが、一時衰微していたのを慶長元年(一五九六)、天龍寺十一代の賢

溪和尚によって再建されました。昔は曹洞宗で「全昌院」と呼んでいたとあります。また学業の神「全性寺天満宮」も祀られています。

### 「丹後赤松号」でお出かけ

今年度の2区敬老会は北近畿タンゴ鉄道の人気車両に乗車



人気沸騰「赤松号」

例年、地藏盆・敬老会・納涼祭とを合わせて実施していますが、今年は趣向を凝らして、人気の車両「丹後赤松号」に乗車する会を開催しました。

西舞鶴駅で下車後、チャーターバスに乗り換えて、五老岳へ登ったり、「道の駅」舞鶴とれとれセンターで新鮮な海の幸を頂いたり、参加者の皆さんには楽しんでもらえました。

2区は少子高齢化が他地区より進んでいます。こういった活動はなおさら疎かにできないと考えられています。



五老岳で記念撮影 良い天気でした